

令和6年12月27日

西部農林水産振興センター県央事務所邑智農業部

標 題	“農業の労働力と自営就農者の確保・育成を進めて産地力を強化しよう” 邑智郡農業士会・郡内青年農業者・郡内就農予定者が合同視察研修実施！
-----	--

(ダイジェスト)

邑智農業部管内では、「担い手育成協定」を締結している経営体がほとんど無く、新規就農者の確保や就農後のバックアップ体制が弱いため就農パッケージの作成にも苦勞することから、ベテラン農業者である邑智郡農業士会と新規就農者(就農予定者も含む)との合同研修会を通じて郡内の農業者間連携強化の取組みをスタートしました。

当郡内においては、就農志向者を雇用して給与を払って技術習得させた後、自営を支援する「担い手育成協定」締結経営体が少ないため、労力と就農者確保が難しく、就農パッケージ作りを困難にしているほか、郡内新規就農者と研修生間にも就農～生産拡大への不安要因になっています。

そこで、邑智郡農業士会(=会長：月山正幸氏、会員数9名)では、県内で最も「担い手育成協定」締結の取組みが進んでいる浜田地方農業士会会員である2法人(「担い手育成協定」締結経営体)への視察研修を12月3日、実施しました。

1 視察先など

邑智郡内は豪雪地帯を抱えることから、特に標高の高い厳しい環境で優良経営を実践されている浜田市の有限会社やさか共同農場と株式会社藤若農産の2法人としました。

「主な日程」

(am) 有限会社やさか共同農場:標高600mの厳しい環境において有機農産物の生産加工販売、常勤職員30名

- - - - 昼食・懇談会(=自己紹介など) - - - -

(pm) 株式会社藤若農産:標高450mにおいて24haの稲作経営及び作業受託+ブドウ+野菜+農産加工・販売、常勤職員3名

2 成果と今後の進め方など

当日は、邑智郡農業士会会員5名、青年農業者等5名、就農志向者5名、町・JA・県職員8名と一緒に現地で作物を観ながら、経営者及び現場責任者に生産技術から経営・人材確保・育成について話を聴き、今後の邑智郡内での労力確保と人材育成について検討材料の収集ができたと思います。

今後は、邑智郡農業士会と関係機関で、就農パッケージ作りに繋がるよう検討を開始する予定です。



やさか共同農場を視察する



藤若農産のぶどう園で説明を聞く